

# 8月のおすすめ本

『日本の貧困女子 衰退途上にあるこの国のリアル』【分類 1101/ナ】  
中村淳彦/著 SBクリエイティブ 2019年

茨城県某市に住む25歳の女性。中学・高校といじめられ、会話をするのはずっと母親だけだったため、彼女の言うことはすべて正しいと思っていました。病弱で家にいるだけの母親も従順な娘に依存し、過干渉に。しかし母親にカードと通帳を渡し小遣いをもらってきていたことに疑問を持つようになり、家を出て母親と断絶することを決意します。多様な事例が掲載され、貧困女子の置かれた現実を知る一助となります。おすすめします。

『お仕事女子の心をラクにする68のこと』【分類 2202/ハ】  
服部結子/著 あさ出版 2019年

ほっこりとした色合いの表紙が目にとまります。「他人の目が気になりますか」「頑張ることが当たり前ですか」等のチェック項目から始まり、「仕事」「人間関係」「心のこと」「自分のこと」「恋愛」「夢と理想」の6つのパートから構成されています。著者が終盤で述べるよう「毎日頑張っているあなた自身を認めてほめて、自己肯定感を高くし、毎日を幸せにし、明日も元気にお仕事しましょう。

『派遣添乗員へトヘト日記』【分類 4101/ウ】  
梅村達/著 三五館シンシャ 2020年

作中のスキーツアーについて語っている章では、金髪茶髪の派手な髪をした若者のグループからお礼を言われます。別のツアーの若い旅行会社担当者からは、特に業務に問題はなかったにも関わらず、理不尽なクレームを突き付けられ出入り禁止になってしまいます。思わぬ喜びもあれば、ひどく憂鬱になってしまうような出来事の繰り返しです。体験談も併せ、昨今のサービス業界の現状についても経験者ならではの視点で語られています。派遣添乗員の世界をぜひご覧ください。

\*福島県男女共生センター図書室 3階\*